

コロナ禍でクリエイイトした町内行事新スタイル ゆうびん・ポストイン・オンライン・ドライブスルー(前編)

北海道苫小牧市 拓勇東町内会副会長 佐藤 一美^{ひとみ}



見えない絆づくり

2020年2月28日、北海道は独自の緊急事態宣言を出し、道内公立学校の一斉休校が始まりました。卒業式や入学式を心待ちにしていた子どもたちも「ステイホーム」。そんな中で唯一、咎められない野外アクティビティ、それは「雪かき」。パウダースノーが舞う苫小牧では「雪はき」と呼ばれる「厄介事」ですが、この時ばかりは時間も体力も持て余した子どもたちがいきいきと率先してやっていました。スコップを持った子どもとその親たちは、自宅前からさらに隣家の前へと除雪範囲を広げており、人との交流をシャットアウトされた中での隣人や地域への気づか

令和2年度拓勇東町内行事一覧

(書)書面開催 (P)ポストイン (O)オンライン (S)オンサイト (配)配布

R2年	4月	(書)班長区長会議 (書)総会準備全体役員会
	5月	(O)定期総会 書面議決 (P)ドイッゲーム家族モニター募集 * (P)ちいきいき交流事業 (はがき) *
	6月	(書)在宅アロマクラブづくり (P)小・中・高生読書チャレンジ(年間募集) (O)役員ZOOM研修会 (S)会館ヨガ(毎月2回、年16回実施)
	7月	(P)手作りマスクコンテスト (O)ZOOMリハーサル会 (P)親子クッキング(年間募集) (P)高齢者脳トレ大会Ⅰ (O)各専門部オンライン会議&懇親会
	8月	(P)サマー大抽選会 (P)こども大クイズ大会 (配)ラジオ体操@ホーム (S)ウォークスルー七夕ろうそくもらい (O)ZOOM 前髪カット講座 (O)ZOOM 宇宙を味方にする行動術講座
	9月	(O)ドライブスルー&ウォークスルー長寿を祝う会 *
	10月	(S)秋の一斉清掃ゼロごみの日 (P)ハロウィン仮装コンテスト (O)ZOOM キッズ英語DEハロウィン * (S)フラワーアレンジメント講座
	11月	(S)町内ウォークラリー
	12月	(O)ZOOM クリスマスマーケティング * (P)高齢者脳トレ大会Ⅱ
R3年	1月	(P)防災備蓄品大抽選会 (O)リモート通信 なぞ解き脱出ゲーム (P)高齢者へ手紙返信事業
	2月	(S)役員iPad入門研修会 3回 (S)役員iPad応用研修会 2回
	3月	(O)ZOOM 食育教室 (P)100名に当たるちょっとハッピー抽選会 (配)防災カレンダー発行

表1 令和2年度拓勇東町内会行事一覧

いに、町内会が目指してきた「見えない絆づくり」の成果を確かに実感しました。

コロナ禍、多様なスタイルを手探りで創

出した当町内の行事(表1…36種・全54回)の中から、いくつか紹介させていただきます。

新興住宅地の拓勇東町内会

苫小牧市は北海道の玄関口。国際物流の拠点の苫小牧港と新千歳空港を有するダブルポートシティと呼ばれています。海・空それぞれの港から車で約25分のところに位置する拓勇東町は、3300世帯・約8千人、世帯平均年齢34歳、複数の子どもを育てる若い夫婦が多く暮らしているまちです。

10年の間に3キロ圏内に児童数700名超の小学校が二つ設立されるほど急速に世帯が増加し、平成21年、それまでの町内会が三つに分離し新たに拓勇東町内会が設立され、令和3年3月現在1280世帯（加入率42%）を有します。家族向けのアパートに暮らす世帯が人口の半数以上を占め、このエリアの従来からの慣習でアパート世帯は町内会に加入しないことが多いため、加入率は低くなっています。（もちろん希望により加入でき、年に数回、加入促進町内会報をアパート全戸に配布しています。）

全国緊急事態宣言

令和2年度がスタートした2週間後、全国を対象とした緊急事態宣言が行われ、再び私たちは5月25日に解除されるまで自宅で過ごすこととなりました。町内会定期総会も書面決議で行うことになり、その頃検索で唯一ヒットした岐阜県関市のホームページを参考に、なんとか体裁を整えました。市内の他の町内会は、「高齢の役員が多いので今年度は町内活動を一切行わない。会報も発行せず、町内会費も徴収しない」と、活動休止を決めたところもありました。町内会はいざという時に助け合える「絆」を平常時に楽しみながらコツコツと築き、「緊急災害時」にそれまでの活動の成果や効力を発揮することが本意ではないか、まさに「今でしょ」という思いを町内会長や各専門部長たちにLINEでつぶやくと、皆、同じ思いでした。この頃から、役員グループLINEでのやり取りが活発化し、定例役員会を対面で行っていた時よりも多く対話するようになりました。



高校生役員たちも協力した高齢者へのコロナ見舞い (2020年5月)



高齢者へコロナ見舞いを書く役員の5人きょうだい(2020年5月)

行事スタイル ゆうびん (P)

まずはやれることをやろう、と企画したのが「地域イキイキ交流事業」です。不安感や孤独感が高まる日々の中、雪解け後の老人クラブ活動を楽しみにされていた高齢者の皆さんを励ますため、「コロナ見舞い」を送ろうというものです。役員有志とその子どもたち、そして高校生役員に協力してもらい、手分けしてはがきを書きました。休校中の子どもたちは、10枚、20枚と喜んで引き受けてくれました。高校生役員は動画で絵手紙を学んで描いたり、休校中にできた趣味や外の景色について文章で伝えたりと、「少しでも元気を届けたい」という想いをはがきに託しました。当町内会では、分離前からの会員情報は世帯主名と電話番号しか持っていないのですが、幸い高齢者に関しては前年度の敬老会参加有無の返信があった方々の住所を把握しており、220名にはがきを送ることができました。数日後、「あまりに嬉しくて毎日眺めている」、「孫にも会えなくて辛かったが、近くにこんな優しい子どもがいるの

を知って嬉しい」と会長宅に電話がよせられたり、「手紙を書いてくれた役員に返事を書きたいので住所を教えてくださいませんか」と問い合わせがあったりと、多くの反響がありました。それを知った高校生たちは、自分たちの行動を喜んでもらえたことに、大きなやりがいを感じてくれました。

行事スタイル ポストイン (P)

家族で取り組めることを町内行事とし

て開催できないかと考え、「ドイツゲームモニター家族」を募集しました。ドイツゲームとは、電池や電気を使わないアナログのボードゲームやカードゲームのことです。それまで、当町内会では毎月1回、小学1年生から中学3年生まで20〜30名が集い、ドイツゲーム好きの大人も加わり、年齢に関係なく様々なゲームを楽しんでいました。集えない今、家族でドイツゲームをしてもらい、会えるようになってきたら「家族対抗ドイツゲーム大会」を盛



Facebookで紹介する「ぶっくちゃんじ」読書感想文は負担が大きい! まずは本を読む子を増やしたい。写メと一言感想・この本を勧めたい人などのみをLINEで報告するスタイル。10冊分送ると図書カード1枚もらえるしくみ



親子クッキングチャレンジ「パパとお寿司をにぎりました」
(2020年8月)

大に開催しよう、という趣旨です。希望者は役員宅の玄関ポストに申込書を入れ、役員が申込者の玄関ポストにドイツゲームを入れる「ポストイン」方式、完全非対面で受け渡します。モニター家族は、遊んでいる様子の写メを町内LINEへ送り、町内会はプライバシー加工をした上でFacebookにアップします。同じゲームが町内のあちこちの家庭内でされている状況、つまり「多会場開催」の町内会行事です。

実際に応募用紙を玄関ポストに入れることに加え、町内代表LINEへの送信するポストイン（応募）も同じスタイル



鬼滅グッズ当選を喜ぶ「大クイズ大会」当選者
(2020年8月)

です。読んだ本と共に撮影した子どもの写真とその感想を送信する「子ども読書チャレンジ」や、親子でクッキングに挑戦し、そのレシピと写真を報告する「親子クッキング」など、「町内行事」を自宅で家族と行うスタイルをいくつも創出しました。また、夏まつり代替行事として、その予算で用意した豪華な賞品が当たる「サマー大抽選会」や、高校生役員が考えたクイズに答えて正解すると人気の鬼滅グッズがもらえる「子どもクイズ大会」なども開催し、その抽選の様子は、公正を期すために役員数名がオンラインでつながりながらライブ配信をしました。

これらは「当たってラッキー」では終わりません。賞品を受け取り喜ぶ笑顔の写真も返信してもらい、翌月の町内会報に掲載しました。閉塞感高まる日々だからこそ、ハッピーを分かち合いたい。写真に慣れている今どきの子どもたちの笑顔とポーズは、まるで町内会報に大輪の花が咲いたかのようでした。

年度の最後には、一度も何も当たってない方を対象に「ちよっとハッピー抽選会」を行いました。高級食パンやカフェ、理髪店の利用券などが賞品です。町内会で準備した60名分に加えて、趣旨に賛同したそれらのお店から40名分の協賛があり、「100名」に当たる大抽選会になりました。当たると「引換券」のはがきが届きます。応募券がそのまま宛名ラベルになるレイアウトにしたので役員の間がからず、送料もはがきのみ、当選者は都合のよい時にお店へ行き、券を使用します。驚くことに、ちよっと100名から応募があり、全員ちよっとハッピーになることができました。（次号に続く）